

2020年6月4日

専任・非常勤教員各位

大阪大谷大学 危機対策本部

対面授業実施に伴う同時双方向型遠隔授業における学生への配慮について（ご依頼）

すでにお伝えしている通り、6月8日(月)より、実験・実習および実技の授業に限定して、本学構内にて教室等による対面授業を開始することになっております。新型コロナウイルス感染の第2波、第3波も予想されるなか、大学内の施設利用が不可欠な授業については、実施可能なこの時期に優先して行う必要があります。なお新型コロナウイルス感染拡大に十分な注意を払う必要があることから、学生の通学時間帯に最大限注意をするため授業実施時間帯を2～4限に限定し、人数が多い場合にはクラスの分割をするなど、特別な時間割編成を組んでおります。

先生方におかれましては、遠隔授業への実施に多大なご協力を賜っているところではございますが、Zoom等を用いた同時双方向型遠隔授業と対面授業の時間が重複する状況が発生する可能性があります。また、重複をしていなくとも、対面授業への受講のための通学時間が同時双方向型授業と重なる場合も想定されます。このような状況は、学生にとって著しい不利益となります。

5月下旬より、情報通信環境が整っていない学生を対象として、一部の情報処理教室については、事前予約した学生の利用を認めております。しかし、情報処理教室内で個々に同時双方向型授業を学生が受講するのは環境としては望ましくないことから、オンデマンド型遠隔授業の受講および課題遂行にのみ目的を限定しています。また、大学内のWi-Fi環境を利用して、同時双方向型遠隔授業受講の可否を検討しているところではありますが、大学内の施設利用時間等の制約から、すべての授業に対してそれが可能となるものでもありません。

学生にとって自身の責によらない不利益は避けなければなりません。同時双方向型遠隔授業を実施されている先生方には、上記の事情により受講できないとの相談をしてきた学生がいましたら、以下のいずれかのご対応をお願いいたします。

1. オンデマンド型授業に切り替える
2. 1が不可能である場合、同時双方向型授業を録画し、それをオンデマンド型教材として、当該学生に公開する
3. 1および2が不可能である場合、受講者と相談の上、授業の日程調整を行う
4. 上記いずれもが不可能である場合、個別対応する

本件につきまして、ご不明な点がございましたら、本学教務課までご連絡願います。

今後とも本学の新型コロナウイルス対策についてご理解いただきますとともに、円滑な授業運営にご協力を賜れば幸甚に存じます。

以上